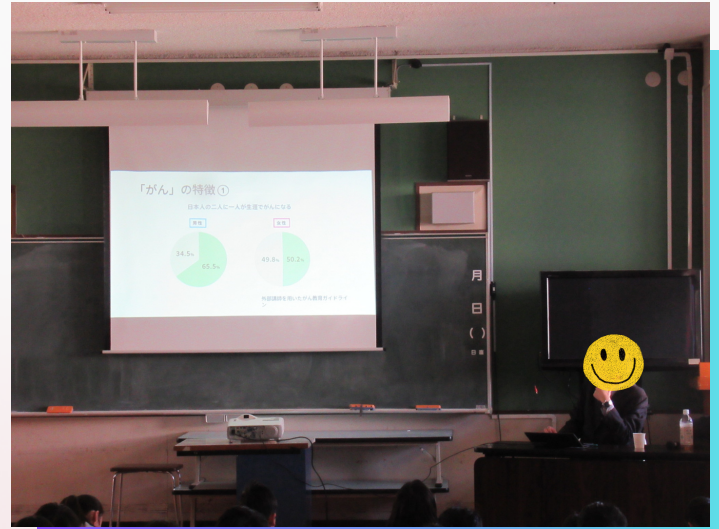


「がん」について正しく理解しよう

令和8年1月22日(木)2校時に、外部講師として公立館林厚生病院放射線科の先生にご来校いただき、「がん教育」を行いました。



この授業の始まり

6年生児童のほとんどが「がん」は「怖い」「治らない」「ステージがある」などのマイナスのイメージを持っていました。

講師の先生から

- *がんという病気を知り、何か症状があったら放っておかず、受診してほしい。
- *がんになってから慌てるよりも、備えてほしい。
- *大切な人ががんになったら、「自分だったらどうしてほしいか。」を考えて行動してほしい。などのお話をうかがいました。

がんは、約2人に1人がかかる身近な病気です。

今日の授業をきっかけにして「何でがんについて学ぶのか・・・」について、ご家族や友達と話し合ってもらいたいと思います。

